

## エンタカポン錠 100 mg 「アメル」

販売名	エンタカポン錠 100 mg 「アメル」 Entacapone Tablets 100mg 「AMEL」
一般名	エンタカポン Entacapone
含有量	1錠中 100mg

### 【この薬は？】

#### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」  
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、パーキンソン病治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬はレボドパの脳内への移行を高めることにより、脳内のドパミンの濃度を高め、パーキンソン病の症状である手足のふるえ、筋肉が硬くなる、動作緩慢、歩行障害などを緩和します。
- ・次の目的で処方されます。  
レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩との併用によるパーキンソン病における症状の日内変動（wearing-off 現象）の改善
- ・この薬は、レボドパ・カルビドパまたはレボドパ・ベンセラジド塩酸塩による治療（少なくともレボドパとして1日300mg）で効果が不十分で、かつ症状の日内変動がある場合に使用されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると、症状が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・過去にエンタカポン錠 100 mg 「アメル」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
  - ・悪性症候群、横紋筋融解症の人、または過去にこれらの症状になったことのある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。飲み始める前に医師または薬剤師に教えてください。
  - ・肝臓に障害のある人、または過去に肝臓に障害があった人
  - ・褐色細胞腫の人
  - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。通常、成人の飲む量と回数は、次のとおりです。医師の指示どおりに飲んでください。

一回量	1～2 錠
飲む回数	1～8 回

1回2錠、1日16錠を超えて飲まないでください。  
この薬は単独では使用せず、必ずレボドパ・カルビドパまたはレボドパ・ベンセラジド塩酸塩と併用されます。

### ●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。  
気がついた時、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とぼして、次の時間に1回分飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

・急性症状として、錯乱（意識の混乱、意識が乱れる、考えがまとまらない）、活動性低下、傾眠（ぼんやりする）、皮膚変色、蕁麻疹（かゆみのある虫さされのような発疹）などの症状があらわれるおそれがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を急に飲むのを中止すると、悪性症候群（高熱、意識がうすれる、筋肉のこわばりなど）や横紋筋融解症（脱力感、手足のしびれ、手足のこわばり、筋肉の痛み、赤褐色尿など）があらわれることがあります。この薬を中止する場合は、時間をかけて少しずつ量を減らし、必要に応じて併用しているレボドパ・カルビドパまたはレボドパ・ベンセラジド塩酸塩の量を増やすことがあります。自己判断せず医師の指示に従ってください。

- ・この薬を飲むと、前兆のない突発的睡眠（前兆もなく突然眠る）、傾眠（眠気でぼんやりする）、立ちくらみなどがあらわれることがありますので、自動車の運転、高所での作業など、危険を伴う作業は行わないでください。
- ・この薬を飲むと、社会的に不利な結果を招くにもかかわらずギャンブルや過剰で無計画な買い物を繰り返したり、性欲や食欲が病的に亢進するなど、衝動が抑えられない症状があらわれることがあります。患者さんや家族の方などは、医師からこれらについて理解できるまで説明を受けてください。また、これらの症状があらわれた場合には医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は授乳を避けること。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手足のしびれ、手足のこわばり、筋肉の痛み、赤褐色尿
突発的睡眠 とつぱつてきすいみん	前兆もなく突然眠る
傾眠 けいみん	眠気でぼんやりする
幻覚 げんかく	実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる
幻視 げんし	実際にはない物が見える
幻聴 げんちょう	実際にはない音がきこえる
錯乱 さくらん	意識の混乱、意識が乱れる、考えがまとまらない
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだのだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿が黄色い

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。

これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	38℃以上の発熱、ふるえ、脱力感、からだがだるい
頭部	意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、眠気でぼんやりする、意識が乱れる、意識の混乱
眼	実際にはない物が見える、白目が黄色くなる
耳	実際にはない音がきこえる
口や喉	飲み込みにくい、吐き気、嘔吐（おうと）
胸部	吐き気
腹部	食欲不振、吐き気
手・足	手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ
皮膚	かゆみ、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉のこわばり、筋肉の痛み
尿	赤褐色尿、尿が黄色い
その他	前兆もなく突然眠る、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、

### 【この薬の形は？】

販売名	エンタカポン錠 100 mg 「アメル」
形状	楕円形のフィルムコーティング錠 
直径	短径：6.2 mm 長径：13.3 mm
厚さ	4.7mm
重さ	313.0mg
色	うすい黄赤色～くすんだ黄赤色
識別コード	エンタカポン 100 「アメル」

### 【この薬に含まれているのは？】

販売名	エンタカポン錠 100 mg 「アメル」
有効成分	エンタカポン
添加物	D-マンニトール、結晶セルロース、デンプングリコール酸ナトリウム、カルメロースカルシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、濃グリセリン、酸化チタン、三二酸化鉄、黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：共和薬品工業株式会社

(<http://www.kyowayakuhin.co.jp/>)

お問い合わせ窓口

フリーダイヤル：0120-041-189

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）